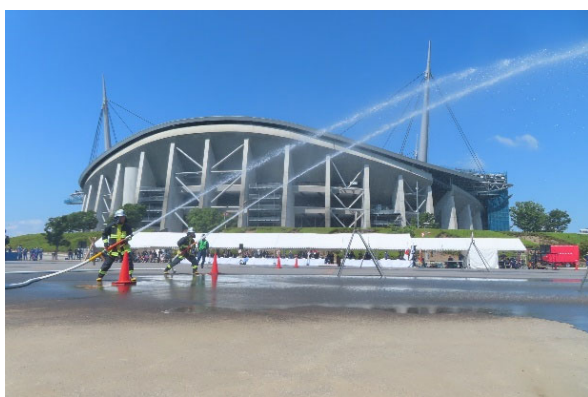


## 「消防団の力向上モデル事業」事業紹介

NO.	53	地方公共 団体名	愛知県豊田市	消防団名	豊田市消防団
担当課	豊田市消防本部 総務課		連絡先	Tel 0565-35-9717 E-mail shoubou- soumu@city.toyota.aichi.jp	
事業名	消防団警防技術大会の開催				
事業詳細	<p>○ 事業の目的・必要性</p> <p>【目的】 消防団の火災現場対応能力及び警防活動に必要な知識技術の向上を図ることを目的とする。本事業は、令和元年度に「豊田市消防団運営のあり方検討委員会」を設置し、消防団の進むべき方向を見出すための検討を始めたことを背景とする。持続可能な消防団運営を考えるうえで、現場対応力、加入促進及び組織活性化の視点から消防団行事、点検・訓練又は建物・資機材等について検討を行っている。</p> <p>【必要性】 消防団の行事や訓練等の方法について、取り組むべきあり方を検討することは、消防団の魅力を生み出すことができ、消防団員減少に歯止めをかける一手となる。</p> <p>○ 事業内容</p> <p>令和4年6月12日(日)、豊田スタジアム多目的広場で、本市消防団員を対象に警防技術大会を開催した。出場小隊は、最大5人で編成し、市内各地を代表する小隊が警防技術を競い合った。</p> <p>具体的には、消防団に配備している車両、資機材及び防火衣を使用し、安全確実な警防活動が実施できるかを競うものである。審査は、安全性や活動の工夫を評価し、安全確実な活動を実施した小隊は、表彰を受けた。</p> <p>大会開催後に、出場小隊にアンケートを実施し、第2回大会に向けた実施内容の検討を行い、より効果的な消防技術の習得を目指す。</p> <p>なお、本事業は「消防団員の処遇等に関する検討会」の最終報告書(令和3年8月)で、都道府県や市町村への提言内容(大会を過度に意識した訓練の実施、大会での行動の形式化の指摘に配慮した見直し)に沿うものである。</p>				

**【概要】**

人員	・小隊長1名 ・隊員4名以内 計5名以内
資機材等	・消防団車両 ・小型動力ポンプ ・背負器 ・分岐金具 ・無線機 など配備品を使用する
服装	・防火衣 ※任務分担により、作業服でも可
審査	・所要時間(基準タイムを設定し評価) ・安全性(審査表に基づき確認) ・アピールポイント(工夫した点を確認)

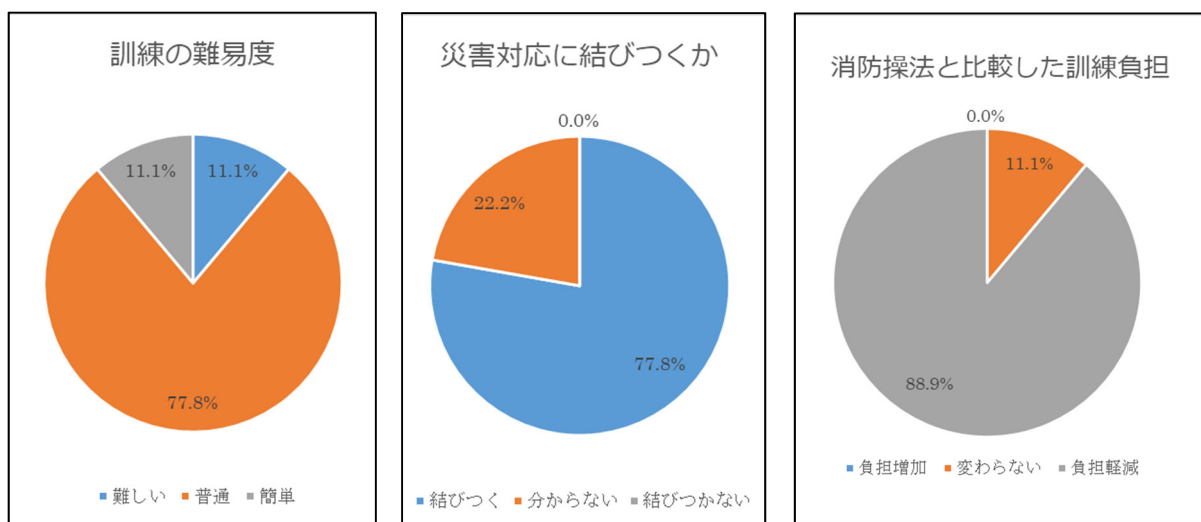


**目標達成状況**

	単位	当初目標値	実績値	備考
説明会	回	2	2	・大会前説明会 2回(4・5月)
訓練参加者	人	220	3,323	・訓練参加者(延べ人数) 4月1,855人、5月1,403人 ・大会参加者 65人
来場者	人	150	691	・大会当日の来場者数
講習会	回	1	2	・講習会(12月、2月)
検討会・ 打ち合わせ	回	6	6	・大会後検討会(7月・8月・9月・10月)

○ **事業成果**

第1回大会の実施後、出場小隊にアンケートを実施した。(回答率64.3%)



(1) 訓練の難易度

考察:災害想定 of 難易度は、適正であった。

(2) 実災害の対応に結びつく内容であったか

考察:災害対応する具体的なイメージを持つことができ、災害対応力が向上する。

(3) 消防操法と比較し、訓練負担は変化したか

考察:消防団員の訓練負担は、軽減する。

その他参考  
情報

※URL の記載などをお願いします。

豊田市ホームページ(豊田市消防団)

<http://www.city.toyota.aichi.jp/kurashi/shoubou/1002444/index.html>